

年 組 名前：

6時間先の水位予測公表

国交省 、 などで

国土交通省は、山梨県内の富士川（釜無川含む）と笛吹川など国が管理する大規模な河川を対象に、今年の梅雨期から6時間先の水位予測情報を提供する。従来は3時間先だったが、氾濫の恐れを早期に察知できるようにし、住民の迅速な避難につなげる。予測技術の開発をさらに進め、将来は数日先の情報も提供する方針だ。

6時間先の予測を発表するのは、流域面積が広いなど重大な損害の恐れがあり、国が情報を発表している298の洪水予報河川。

大雨時、降雨予想や川の形状などから水位の変化を予測し、自治体に伝達したり、ホームページで公表したりしている。

国交省によると、実際に観測した水位データを組み合わせ、予測を6時間先にする試



(2021年4月2日付 山梨日日新聞1面)

問1

大規模河川の水位予測情報の提供について、従来の「3時間先」から「6時間先」に変更する目的は、何ですか。

.....

.....

問2

記事見出しの に入る山梨県内の2つの大規模河川名を書いてください。

国交省「 」、「 」などで

問3

あなたの家の周辺には、大雨時に氾濫^{はんらん}の恐れのある河川があるか、また緊急時にはどう行動するかなどについて、家族で話し合ってみましょう。

.....

.....

.....

みを昨年から一部河川で実施。一定の精度を保てる」と判断した。

さらに、おおむね1日半先の水位予測も今年の梅雨期から試験的に始める。首都圏を流れる荒川が対象で、気象庁が提供している長期の降雨予想を活用する。

当面、国交省が排水ポンプ車を配備する際などの判断材料とし、信頼性を向上させた上で自治体にも提供、住民避難に役立ててもらう。